

# 耳納ねっと! 手づくり市

H29 3月12日(日)

10:00 ~ 15:00

屋内開催・雨天決行



出店希望者は出店要項  
参照(またはWEB参照)

会場・お問合せ 再生工房  
☎ 0943-76-2077  
うきは市吉井町富永 2006-1

# 耳納ねっと! 社会科見学ツアー



申し込み先着順で  
定員20名

3月29日(水)

集合場所・出発時間  
再生工房 9:30

16時頃終了予定

地域の環境・地産池消等に貢献している地元の企業などを見学するツアーです。  
貸切バスで移動・見学します。  
普段は見ることのできない現場の取組を学べる貴重なツアーです。  
お誘いあわせの上、ご参加下さい。

## 井上果樹園

減農薬等こだわり農園の講話・実演  
当ツアー限定オリジナルランチ!



見学・昼食



このほか、とっておきの見学スポットを計画しています。

お申込み・お問合せ ☎ 0943-76-2077



2017 February

# minou net

Vol.39 再生工房を運営する耳納ねっと!がお届けする情報誌  
平成16年から、うきは市、田主丸町でエコ活動やっています!

うきは市出身の高山英紀シェフをお招きして昨年11月22日に創作料理教室を行いました。(うきは市ブランド推進課との共同開催) 高山シェフは2004年に渡仏。一流料理店での修行を経て、現在、兵庫県芦屋「メゾン・ド・タカ芦屋」料理長。この日の教室のテーマは「うきはの食材とオリーブを用いた料理」。様々な経験を積まれたシェフならではの料理が並びました。受講した市内外の料理人の皆さんは熱心にメモを取っていました。



## 耳納アンビシヤス広場だより

再生工房は子どもたちが気軽に立ち寄りて遊ぶことのできる居場所  
地域ぐるみで子育てする場所「アンビシヤス広場」に指定されています。



うきは市、田主丸町の子供会、学童保育等のお世話係のみなさま! 子供会の新入生歓迎会等、各種活動のお手伝いします。



午前中は牛乳パック寿司、イモチョコ、スープづくり。  
午後はバルーンアートで遊びました。

(H29.1.28 小塩小学校家庭教育学級)

## 出張読み聞かせ 行います

要予約  
H29.4月~



学童保育などを対象に出張読み聞かせを行っています。  
費用は無料です。  
ぜひ、ご利用ください。

- バルーンアート → ¥200/人  
ペンシルバルーン・空気入れは広場で準備いたします。
- 牛乳パックを使ったお寿司づくり → ¥500/人  
各自牛乳パックをご持参ください。  
お寿司以外に、スープ、デザート等つくります。

お申込み・お問合せ: 0943-76-2077



月に一度の掘り出し物市  
耳納ねっと！エコ教室  
リフォーム・布ゼウリ・  
裂織・一閑張りの材料  
として最適！

# 耳納ねっと！ はつが二十日の市

午前10時から午後2時まで

- 2月 2/21(火) **詰め放題**  
1袋: ¥300 2袋: ¥500
- 3月 手づくり市開催のため、二十日の市はおやすみ。
- 4月 4/20(木) 通常販売
- 5月 フリマ開催のため、二十日の市はおやすみ。
- 6月 6/20(火) 通常販売
- 7月 7/20(木) **詰め放題**  
1袋: ¥300 2袋: ¥500



ほぼ毎回  
カフェコーナーも併設！

リユース品販売  
着物・洋服・食器  
日用雑貨  
レトロ家具・雑貨

不用品  
無料出張回収  
やっています

## 3Rクッキング講座



2月24日(金) 10:00開始  
**フルーツマドレーヌ**  
田主丸町の老舗菓子店「丸屋菓子店」の藤吉さんをお迎えして教室を行います。



3月10日(金) 10:00開始  
**「春を食べる」～桜餅ほか～**  
春にふさわしいものをつくります。



3月24日(金) 10:00開始  
**塩糍料理**  
塩糍づくりと塩糍を使った料理をつくります。



3/16(木)13:00～ 3/25(土)①9:30～②13:00～  
**みそづくり** 受付は3/1(水)10時～  
みそ持ち帰り用15リットル密閉容器を持参。

3Rクッキング受講の際に持参していただくもの(共通)

- ①エプロン ②三角巾等頭を覆うもの ③布巾2枚

受講日2日前以降にキャンセルされた場合、キャンセル料が¥500がかかります。ご注意ください。

お申し込み **耳納ねっと！事務局**  
0943(76)2077

## 講演会報告



# 沙漠を緑に



～NPO法人 田主丸町緑の応援団 20年の歩み～

開催日 **12月10日(土)**  
平成28年



講師  
NPO法人  
田主丸町緑の応援団  
代表  
**宮崎吉裕氏**

日本から国境を超えて中国の砂漠緑化のために長年実践している同団体。  
ほぼ毎年、田主丸町周辺の中高生を植林ボランティアとして引率し、H28年には第21次隊を派遣。

### 沙漠緑化のきっかけは何？

**田**主丸町緑の応援団(以下、応援団)が生まれた田主丸町(現久留米市)は日本有数の植木苗木の生産地であり、緑化を通じて地球環境の保全に貢献することをまちづくりの目標としていた。平成3年に日本沙漠緑化実践協会(以下、実践協会)会長の故 遠山正瑛氏(鳥取大学名誉教授)が同町で「よみがえれ地球の緑」と題して緑化講演会を開催。多数の参加者があり、沙漠緑化に対する機運が高まった。翌平成4年に実践協会主催の「緑の協力隊」に町職員を一人派遣し、ここから田主丸町緑の応援団の歴史が始まる。平成6年には当時町議だった宮崎氏も参加、平成7年には町民を公募し、町費で派遣する活動が始まる。その後、久留米市との合併に伴い、田主丸町での活動主催団体が町から応援団へ。中高生への旅費8割程度の補助事業をはじめ、そのための賛同金を募るとともに久留米市より助成を受ける。

### どこで沙漠緑化を行っているの？

沙漠緑化活動を行っている場所は中国 内モンゴル自治区のクブチ沙漠(ゴビ沙漠)の恩格貝(オンカクバイ)という場所。前出の故遠山氏が植樹活動をはじめた場所であり、応援団が連携を図る実践協会が植樹活動基地を置く場所である。北京から内モンゴルの大都市包頭(パオトウ)までは夜行列車、そこから恩格貝まではバスで移動。夏の地表面は40℃近くに達し、冬はマイナス20℃になることも。年間降水量は300ミリ程度。(福岡県は約1,600ミリ)



田主丸と恩格貝の位置関係(ゲーグルアースより)

田主丸町緑の応援団(内モンゴル自治区クブチ沙漠の植樹ボランティア)  
**第22次隊 (H29.8.16出発～8.22帰国) 募集中!!** H29.2月現在

### ますます発展するNPO法人田主丸町緑の応援団



植える樹種は生育が早く活着しやすい「ポプラ」。1m程掘るので、最後は写真のようにかがまないとスコップが届かない。

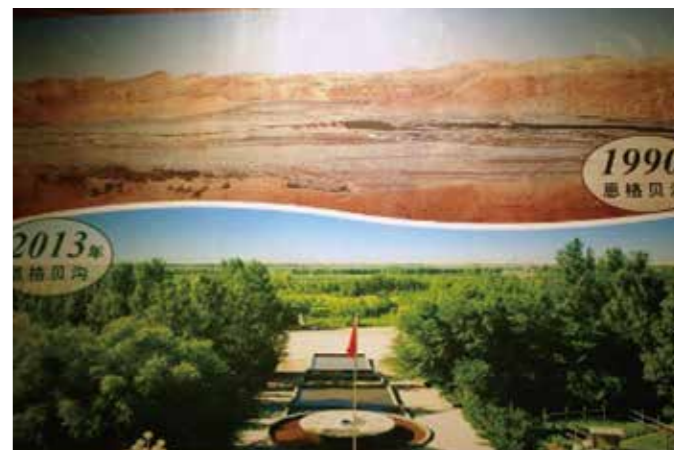


全国各地から「緑の協力隊」として植樹活動をするなか、田主丸町専用の植樹エリアが2カ所あるとのこと。

平成23年には、最初の沙漠派遣から20年目を迎え、平成25年には参加者数のべ310名、平成26年には小中高生の派遣が50名を越える。また、植えたポプラの本数は2016年の第21次隊で16,000本を突破した。

応援団のホームページにはこれまで植樹に参加した小中学生の感想文があげられています。中には作文コンクールで最優秀賞に入賞したものもありました。みな何かを得て、ひとまわり大きくなって帰ってきたような印象です。活動年表には数多くの表彰歴がある「緑の応援団」。今後ますます発展しそうです。NPO法人田主丸町緑の応援団HP(ブログ):「緑の応援団」で検索。

(参考文献・出典) NPO法人田主丸町緑の応援団HP、NPO法人日本沙漠緑化実践協会HP、(一財)自治体国際化協会HP、講演会資料、気温と雨量の統計HP



恩格貝の博物館にあるという植樹のビフォーアフターの図(NPO法人 日本沙漠緑化実践協会HPより)



耳納ねっと!  
あなっふ  
しよっく

使わなくなった帯を使ってかわいい羽子板を作りました。再生工房らしいサイクリの作品です。

リフォームを覚えておられた右路富美子先生が作品展にいらっしゃいました。とてもお元気でした。

再生工房の受講生最高齢の重岡静子さんは大正14年生まれ。御自身の作品の前で撮影です。

朝倉市里川の山里美術館「共星の里」アートディレクター 柳和暢さんに餃子づくりを教わりました。